

福岡県支部における公務災害・通勤災害の認定状況(令和2年度)

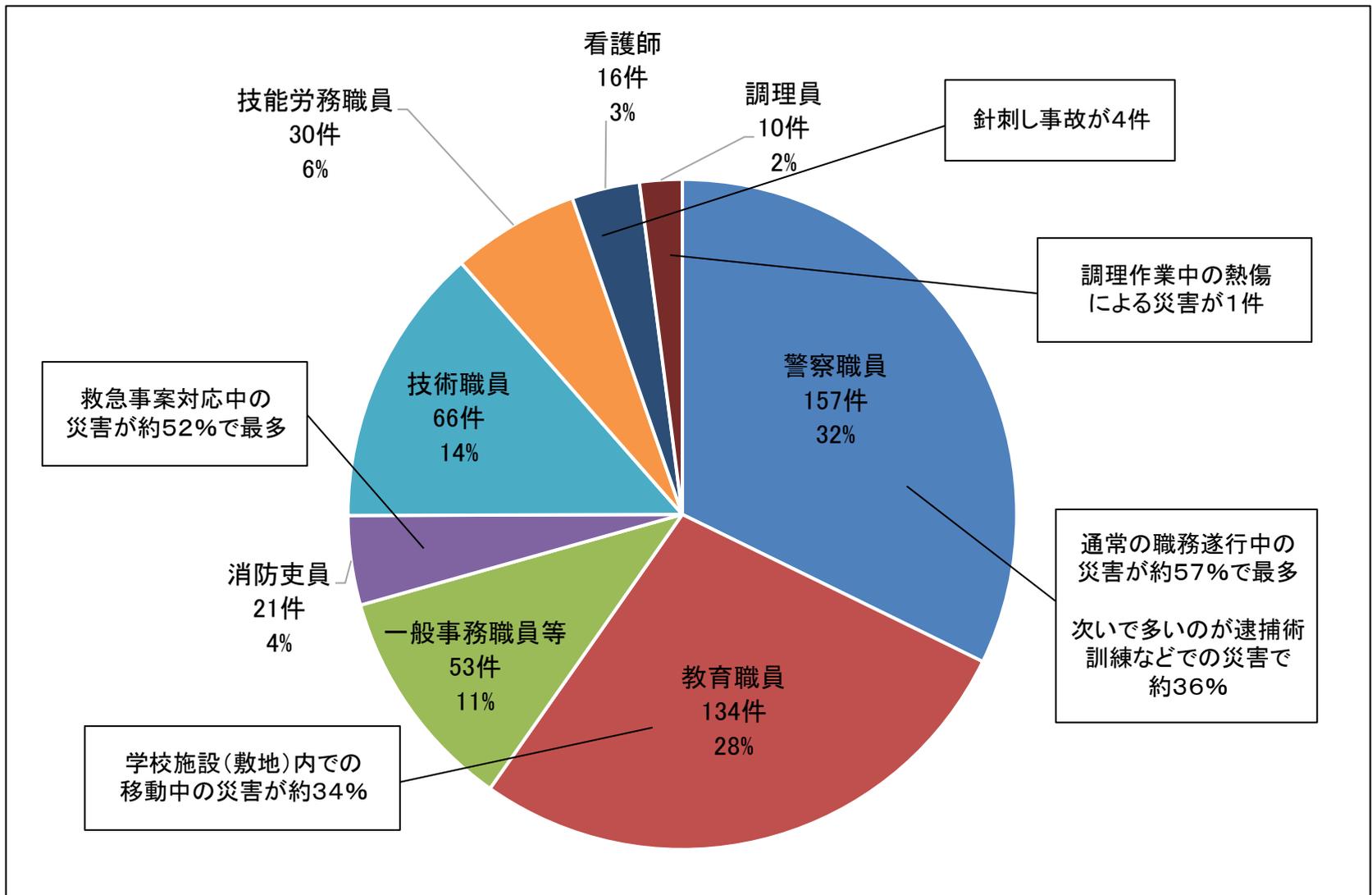
○公務災害・通勤災害認定件数

令和2年度の公務(通勤)災害の認定件数は544件、過去3ヶ年度の平均が584件で、概ね600件程度で推移しています。職員千人当たりの公務災害認定件数は警察が最も高い比率となっています。

団体種別	平成30年度			令和元年度			令和2年度			職員千人当たり公務災害認定件数
	公務	通勤	計	公務	通勤	計	公務	通勤	計	
県										
知事部局等	27	6	33	30	7	37	35	5	40	4.7
教育委員会	105	2	107	138	14	152	134	10	144	5.2
警察	287	8	295	277	13	290	157	16	173	12.9
小計	419	16	435	445	34	479	326	31	357	7.2
市	71	9	80	61	15	76	100	16	116	6.6
町村	21	6	27	30	2	32	29	7	36	5.5
一部事務組合等	31	3	34	44	1	45	32	3	35	6.3
県支部合計	542	34	576	580	52	632	487	57	544	6.9

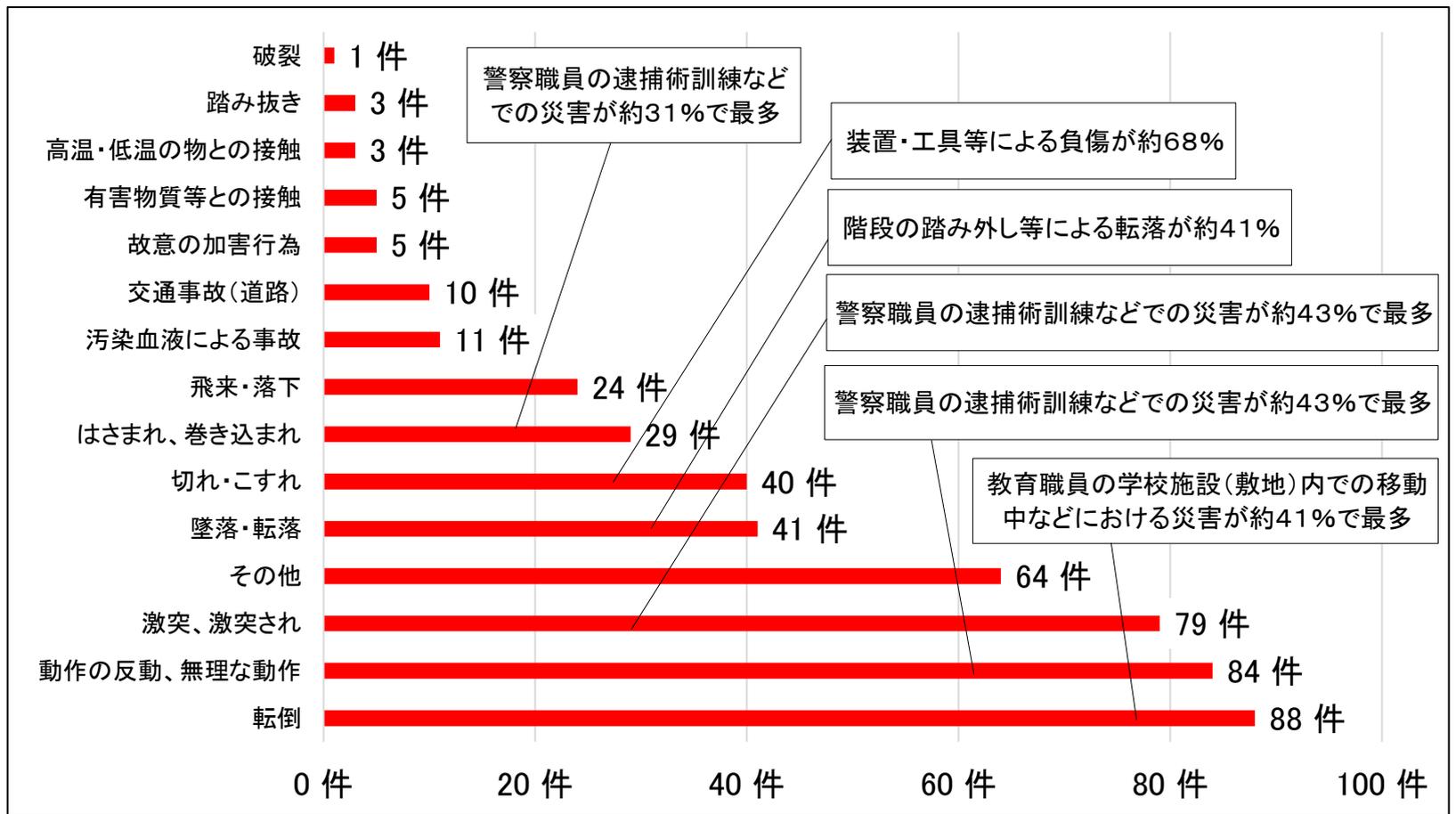
○職種別公務災害の認定状況

公務災害と認定された487件のうち、警察職員及び教育職員に係る認定件数は併せて291件と、全体の約60%を占めています。



○事故形態別公務災害の認定状況

事故形態別では、「転倒」、「動作の反動、無理な動作」及び「激突、激突され」で合わせて251件と、全体の約5割を占めています。



○傷病別公務災害の認定状況

傷病別では、「骨折」、「打撲、挫傷」、「創傷(擦過傷含む。）」及び「靭帯、腱断裂」で合わせて349件と、全体の約7割を占めています。

